

シラバス：

年度	2015		
科目	地域理解（まちづくりの企画体験を通じた実践学習）		
担当教員	植野雄司、上田慎二、平井拓己		
授業種別	集中授業（単位互換）	授業形態	講義と演習ならびに実習
履修年次	1	学期	2015年度 後期（4日間）
到達目標	1. 地方自治と行政施策のあり方について理解する。 2. 住民自治の理念を理解し市民的資質を身につける。 3. 地域社会の発展のために貢献できる。		
授業概要	<p>郊外への人口移動や少子高齢化といった人口動態の変化に加え、人びとの消費行動や生活様式も変化し、地域社会においては、市街地の過疎化や日常生活に必要な「生活インフラ」の弱体化が課題となっている。こうした課題について、自治体等による行政の観点からの取り組みを検討するだけでなく、地域住民が主体的に課題解決に係わるという視点も重要である。この授業は、これからの社会を担うべき当事者としての学生が、これら2つの観点から「まちづくり」の課題に取り組むことで地域理解を深めることを目的としている。</p> <p>またこの授業は、泉大津市や同市内の商店街の協力のもとで、南大阪地域大学コンソーシアム単位互換制度のセンター科目として、泉大津市の施設等を利用して実施される。地方自治や地域社会の課題や現状をじかに知ることができるだけでなく、イベントの企画や実施などの具体的な活動を通じて、学生が主体的、体験的に学ぶことができる内容となっている。</p>		
授業計画	<p>第1日 11/14（土） <イントロダクション～課題設定> [テクスピア大阪]</p> <ol style="list-style-type: none"> 講義：「まちづくりと市民参加」 実習：「市民行政の基礎（市役所訪問）」 講演：「行政における現実的課題」（泉大津市長） 講演：「消費者としての市民の役割」（Victoria Thoresen） <p>第2日 12/6（日） <フィールドワークⅠ～講演> [泉大津市市民会館]</p> <ol style="list-style-type: none"> ワークショップ：「ブレインストーミング～何ができるか？」 講義「市民としてのフィールドワーク」 実習：泉大津中央商店街の見学 演習：ワークショップ「ふりかえり～市民として何ができるか」 <p>第3日 12/12（土） <フィールドワークⅡ～消費者教育イベントの準備> [泉大津市市民会館]</p> <ol style="list-style-type: none"> 演習：ワークショップ「消費者教育イベントの企画①」 演習：ワークショップ「消費者教育イベントの企画②」 演習：ワークショップ「消費者教育イベントの準備①」 演習：ワークショップ「消費者教育イベントの準備②」 <p>第4回 12/13（日） <まちづくり実習～消費者教育イベント> [泉大津中央商店街・泉大津市市民会館]</p> <ol style="list-style-type: none"> 実習：消費者教育イベントの実施① 実習：消費者教育イベントの実施② 		

	15 演習：ふりかえり～今後に向けて
授業方法	講義と演習ならびに実習
授業外学習	毎回自主学習課題を設定する。
教科書	なし
参考書	適宜授業で紹介する。
評価方法	授業への参加度（30%）と課題の提出物（70%）を総合して評価する。
備考	定員：20名（男女） ※最小履行人数：5名 授業時間：10:00-17:00（12:30-13:30 昼休憩） 授業場所：テクスピア大阪（泉大津駅徒歩約4分）、泉大津中央商店街、泉大津市民会館 ※授業内容により変更する場合があります。